

# 宗像市の コミュニティ施策について

宗像市市民協働環境部  
コミュニティ協働推進課  
主任主事 原田 唯

## 宗像市の紹介

※いずれも令和3年10月末現在

- 人口 97,103人 世帯数43,958世帯
- 高齢化率 30.0%  
(自治会ごとの高齢化率0.0%～60.9%)
- 自治会数 143自治会  
(23世帯～2,108世帯)
- 自治会加入率 (令和3年1月末) 69.1%

市公式HP ふるさと納税



## 宗像市の 「コミュニティ」とは？

⇒原則として宗像市立小学校  
又は義務教育学校の通学区域  
において市民等であるもの(以下「地域住民」という。)が共同  
体意識を持って、主体的に  
形成された地域社会をいう。  
12地区のコミュニティが存在。

### 小学校区

⇒子どもを介した地域のつながり



## 宗像市の 「協働」とは？

地域がやることは地域で  
行政がやることは行政で  
一緒にやることは協働して

市民等及び市が、創造豊かで  
活力あるまちづくりを推進す  
るため、それぞれの役割分担  
のもと、相互に補い合いなが  
ら、対等な立場でともに活動  
し、その成果を相乗効果的に  
生み出すための営みをいう。  
(宗像市市民参画、協働及び  
コミュニティ活動の推進に関  
する条例より)



## コミュニティ施策をはじめた経緯とは？

宗像市には  
昔から協働の素地があった  
市民の皆さんの力を借りないと、  
行政サービスが成り立たない！！

少子高齢化

核家族の進行

財源の減少

行政サービスに対するニーズの多様化

(子育てや高齢者支援、防犯や防災など)

⇒自治会単位ではなく、

**より広い区域**での活動が必要に！

## コミュニティの歴史

昭和50(1975)年	第1次コミュニティ会議を設置し、コミュニティづくりの方向を研究
平成10(1998)年	コミュニティ担当部署を新設(企画課コミュニティ係)
平成12(2000)年	モデル3地区(自由ヶ丘、南郷、日の里)に コミュニティ運営協議会を設立
平成15(2003)年	旧宗像市と旧玄海町が合併し、新宗像市が誕生 合併後もコミュニティ推進事業を継承
平成17(2005)年	旧大島村を編入合併(3月28日)
平成18(2006)年	宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する 条例を施行 まちづくり交付金の本格的な導入(各種補助金の統合) 指定管理者制度開始
平成20(2008)年	まちづくり交付金の見直し
平成24(2012)年	まちづくり交付金の拡充

# 行政のかかわりや 役割とは？

## 市職員による支援 活動の支援

まちづくり計画の実行支援

- 市職員の常駐 1日/週
- 各種会議の出席  
(各種部会、役員会など)
- 会長会議 (6回/年) や  
事務局長会議 (11回/年)  
の開催
- 各種研修会の開催  
(広報、監査、新任事務局  
長など)

## 権限・財源の移譲

まちづくり交付金

- 行政区長制度の廃止
- 補助金の統合  
(まちづくり交付金)
- 協働委託の推進

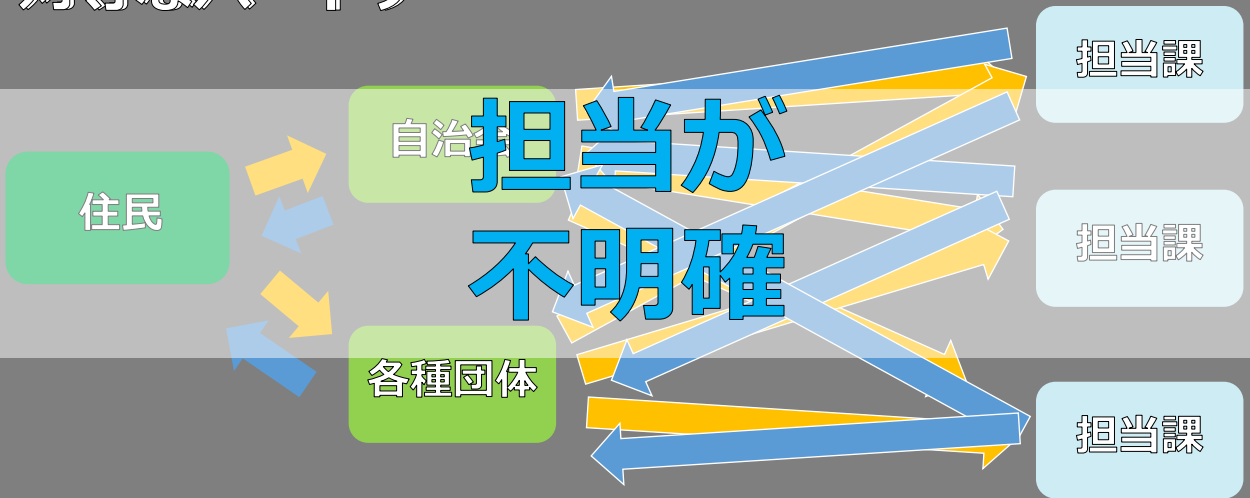


## コミュニティ・ センターの整備

活動拠点の整備/機能の充実

- 市内12のコミュニティす  
べてにコミュニティ・セン  
ターを設置
- 管理運営業務を各地区のコ  
ミュニティ運営協議会へ委  
託 (平成18年度より指定  
管理者制度)

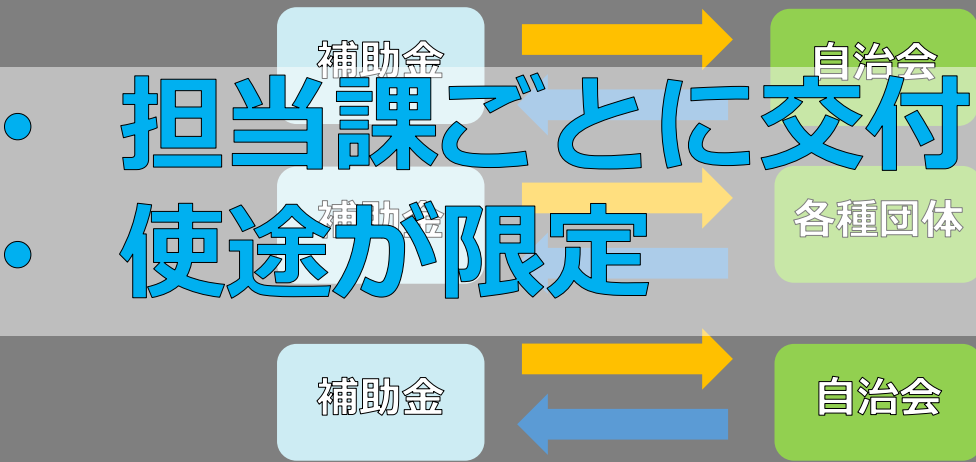
# 地域と行政は 対等なパートナー



# 地域と行政は 対等なパートナー



# まちづくり交付金



## まちづくり交付金



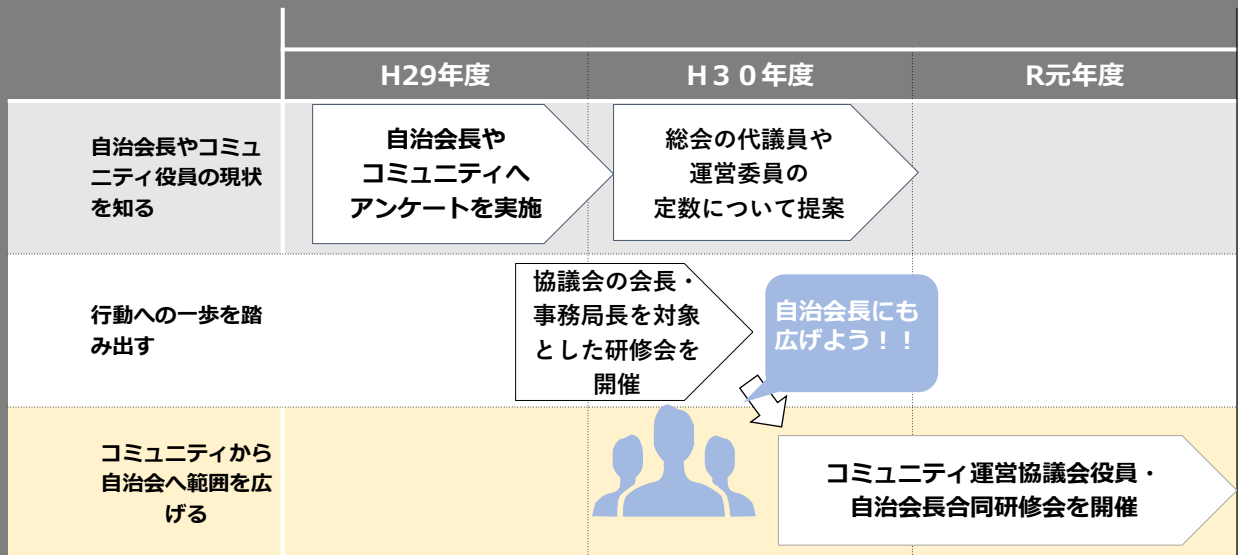
コミュニティ施策をはじめ、  
20年が経過しました

高齢化がさらに加速、  
世帯構成が変化（世帯人数の減少）

自治会やコミュニティの担い手不足が深刻化

まつりなど親睦を中心とした組織から  
命とくらしを守る組織への変化が必要

## これからを見据えた取り組み



## ＼このままでいいと?!／ 地域の進化project (2020～)

コミュニティ運営協議会役員・自治会長合同研修会を開催

進行する高齢化社会や地域課題に対応するべく、組織や行事の見直しや情報共有する場を提供

し、活動のヒントにしてもらう。

コロナ禍でもオンラインを使い、

学びの機会を止めない工夫も

⇒行政からの情報の共有、地区をこえた学びの場の提供・調整をさらに進めていきたい。

# オンライン化が加速した結果、業務にも変化が。



定例の会議の開催方法に幅ができた。  
→対面開催とオンライン開催  
状況に応じた開催方法を選択できるように。



コミュニティ運営協議会会長会議や事務局  
長会議の様子をzoomで中継  
→担当者以外の課員が情報共有をリアルタイムで行うことができるように。

例年対面で開催していた  
新任自治会長を対象としたオリエンテーションを  
動画で配信。  
(市公式youtubeチャンネルで公開中！)  
→「集まらないから開催できない」を克服！  
→参加者も日時を問わず視聴できるように。

複数人で遠方の研修会の参加が可能に  
→旅費がないからあきらめていた研修会や会議に参加できるようになった。

当たり前が通用しなくなった  
からこそ、  
チャレンジへのハードルが下  
がってきた！

## Youtube公式チャンネルで、 動画公開中！



ご清聴、ありがとうございました